

穴生学舎かわら版

第10号
穴生学舎
新聞編集委員会

紅組応援団は「東日本が“心をひとつ”にとの絆に結ばれ復興に立ち上がっている」、その思いに呼応したいと考え、応援席との一体の応援を目指し、結団。応援歌も、明るく元気な「AKB48」の“会いたかった”にしました。団員は中野プロデューサーのもと、楽しかった練習の成果を本番でも発揮でき、感激しました。皆さん、感動をありがとう!!

—紅組団長・村上さん(地域づくり)のコメント—



お互いの健闘を誓う
両応援団長

激突! 紅組応援団 vs 白組応援団

穴生学舎ふれあいスポーツ大会で、2年ぶりに応援合戦が行われた。両応援団は短期間にもかかわらず、構成から選曲、振付、練習、衣装の準備に至るまで全力を傾け、当日を迎えた。突き進む紅組に、途中で演目の変更に踏み切った白組…。果たして、軍配はどちらに上がったのか。



懐かしのひげダンスで
巻き返す白組!

大会の華・応援合戦復活!

初めてのスポーツ大会は、紅白応援合戦に出場した。応援合戦は高校時代から何年ぶりかしら。仮面を着けたヨーロッパ風の衣装が素敵だった。合戦前、白組の各コースに大声援をお願いして回った。電線音頭が終わり、ひげダンスの曲に乗ってコースの前へ行くと、全員、立ち上がったの声援で、目頭が熱くなったわ。会場で味わった一体感、拍手と声援に包まれて最高の気分だった。

—白組団員・川下さん(絵画)のコメント—

競技得点表		種目紅白			
種目	紅	白	種目	紅	白
① 急がゆぬれ	1010	1010	5 レッツ 応援合戦	10	5
② 玉入れ	1515	1515	6 紅白 応援合戦	18	22
③ アンパンに 誘えろ	52	48	7 諸国海遊記	21	19
④ 大玉転がし	20	10	8 手も つぎごう	43	37
			9 駆けめけろ	18	16
			総得点	189	166



先攻・紅組は攻めのAKB48!

流石デス 一糸乱れぬ整理体操



所長(左)と伊藤委員長

「異常気象→異状気昇?」
穴生学舎所長 新木秀敏

穴生学舎ふれあいスポーツ大会当日は朝から曇一つない快晴の天気。がしかし、時間が経つにつれて見る見る雲が湧き起こり、終了間際の2時半頃にはドーム上空は厚い雲に覆われ、滝のような集中豪雨。

北部九州は未だ梅雨の真っ只中、「異常気象」は当然のごとく予測されたものであり、ドームの大会実施は、天候に左右されずに安心して競技の進行ができるものであった。

プログラムが進むにつれて、大会は段々ヒートアップの度合いを増し、最後の種目・フォークダンスでは特にノリノリの『異状気昇?』、記憶に残る第十八回大会、研修生並びに職員の皆さん、大変お疲れさんでした。

末筆ながら、本大会運営にご尽力頂いた伊藤大会委員長始め委員の皆様、心から感謝申し上げる次第である。